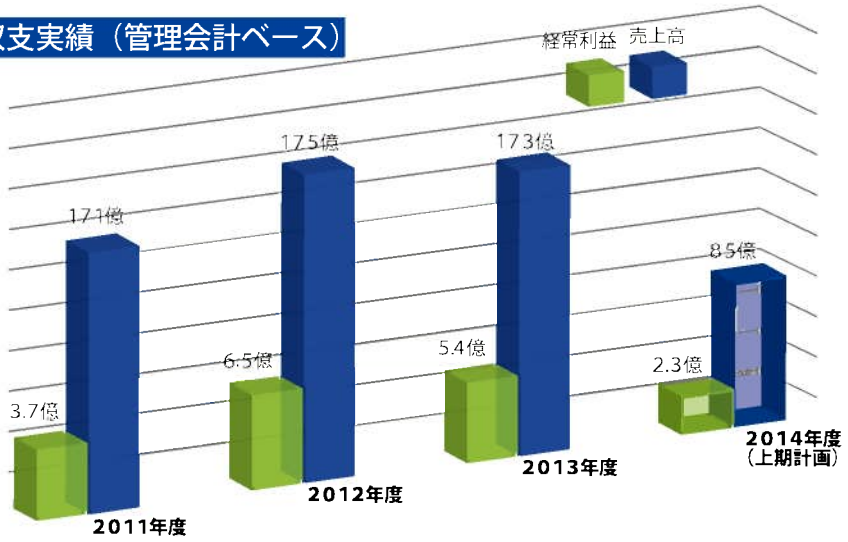
２０１３年度収支実績
及び、２０１４年度上期利益計画

「人を育て、縁を育む」…刻み続ける１００年の輪

２０１３年度につきましては、欧米・ＡＳＥＡＮを中心とした海外需要の回復とともに、円安・株高が進行し、企業収益のみならず、設備投資や雇用情勢などの改善も見られました。一方で、周辺国との関係悪化や輸入原材料・電力・エネルギーコストの上昇など景気の先行きに対する不透明感が拭えず、厳しい状況のもと推移しました。しかしながら、「積極的な営業展開」「徹底したコスト管理」を実践し、管理会計ベースで５.４億円（計画比＋１.３億円）という経常利益を計上することが出来ました。

収支実績（管理会計ベース）



売上高　１７３億円

経常利益　５．４億円

２０１４年度につきましては、引き続き旺盛な鋼材需要や首都圏を中心とした大型工事案件など内需を期待させる話題も多くありますが、中長期的にみると、国内産業の空洞化（メーカーの海外進出）、人口減少に伴う国内消費の低迷、少子高齢化による労働力不足など懸念される話題も多く、依然厳しい事業環境にあると予測されます。

そのような環境下、２０１４年度上期では「１４年度中期計画」の戦略投資である「東海物流センターコンテナヤード新設」「植物工場第２期増床工事」を行い、次の１７年中期計画への基盤を整え、今年迎える１００周年も通過点とし、更なる進化・繁栄に向け労使協調のもと一丸となって諸策に取り組んで参ります。

２０１４年上期　全社事業方針（ＰＯＩＮＴ）

■１４中期の完遂と１７中期への基礎固め■

１２年	・業務改善、生産性の追及（原低／拡販による収支対策） ・人材育成プログラムスタート	・マルタホープ設立 ・植物工場建設
１３年	・ＣＳ管理、ＣＳＲチーム新設（安全・品質・識別・コンプライアンス） ・制度改革	・名古屋物流センター建設
１４年	**・リスクマネジメント強化（全社リスクマップ作成）**	**・東海物流センター増改築 ・植物工場第２期工事**

2014年下期（17中期策定年度）

１７中期位置付け　→　**競争戦略中期**

２０１４年度上期　主な業務計画（丸太運輸／グループ６社）

Logistics

■ グローバル化への対応
　　東海輸出プロジェクト
■ 国内物流再構築と小ロット化対応
　　事業計画化
■ 車両効率化の推進
　　トレーラースイッチ輸送の推進

Production

■ 大同社新炉完成後の運営安定化
　　製鋼クレーン、
　　スラグダンプの安定操業
■ 人材育成
　　他工場との人材交流、多能工化
　　技能伝承

Construction

エンジニアリング部門

■ 営業強化　　営業体制の確立と情報共有の徹底
■ 戦力整備　　技能伝承、資格取得、即戦力技術スタッフ確保

レンタル部門

■ 売上拡販 ■　　新規出店による顧客開拓、戦力の品揃え強化
■ 運営体制の合理化 ■人員配置、営業・整備・点検体制見直し

事業開発

■ 水耕栽培事業の拡大
　　常滑植物工場第二期増床工事着手
　　（４月完成予定）
■ 東海輸出プロジェクト支援
　　コンテナヤード設計／施工管理
　　（５月完成予定）

管理統括部

■ リスクマネジメント強化
■ 消費税率引上げ対応　　会計処理、基幹システム関係
■ 各種プロジェクト推進　　100 周年、ＳＫＢ、東海輸出プロジェクト

マルタアマゾン/ブルーペッパー

■ 車両効率化の推進　　トレーラスイッチ輸送の仕組み構築
■ 戦力整備／確保　　保有戦力の見極め、協力会社政策の整備／確立
■ リスクマネジメント　　法令順守、安全輸送体制の整備

マルタパワーズ

■ 戦力整備　　自車、協力車両含めた車両戦力の計画的更新
■ 体質強化　　名港ＳＳ運営強化（モデルＳＳへ）

鹿島丸太運輸

■ 人材育成　　４本柱（安全・品質・識別・ＴＰＭ）の確立
■ リスクマネジメント　　安全対策費によるハード改善、コンプライアンス強化

丸太自動車整備

■ 売上拡大　　整備単価アップと既存顧客のシェアアップ
■ リスクマネジメント　　法令順守とコンプライアンス意識の浸透

M. ニューコン

■ 売上拡販　　玉ノ湯サービス・イベントの企画・店舗運営管理
■ 新規事業への取組み　　飲食事業の展開

2014年4月よりスタート（予定）

丸太グループＳＫＢ活動

2006年より本社が運用していました環境マネジメントシステム『ISO14001』が、2013年10月をもって認証終了しました。それを受け、本社のみならず、丸太グループ全社で行う「SKB活動」が2014年4月から新にスタート予定です。

SKB活動とは？

ISO14001と大きく異なるのは、本社のみが活動を行うのではなく、全社で活動を行う点です。また、従来の環境に特化した活動ではなく、より『丸太らしさ』を出す項目として、『環境』に加え、『社会貢献』『美化』の項目を追加しました。

この活動を、丸太グループ全体で取り組むことで、省エネ・省資源による光熱費・事務消耗品の削減のみならず、CSR（企業の社会的責任）を実現していきます。

S 社会貢献

リサイクル品の寄贈や、地域貢献という形で、企業としての社会貢献を充実させる

K 環境

顧客ニーズと環境関連法規に対応しつつ、持続可能な環境貢献活動を推進する。

B 美化

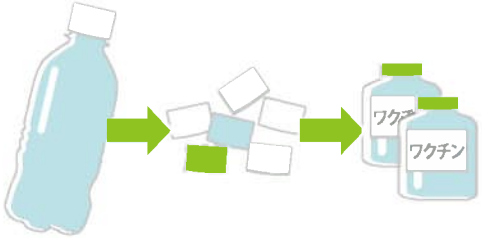
オフィス美化を推進し、より生産性の高い仕事・職場環境づくりを目指す。

現在の活動状況

現在は、2014年4月の活動スタートに向けて、本社内の若手メンバーを中心に、事務局と推進委員に分かれて、活動の内容や運用サイクルについて検討中です。

実際のSKB活動の内容を一部紹介

■エコキャップ収集



ペットボトルのキャップ集めて寄付することで、860個あたり1個のポリオワクチンを、世界中の子供に届けます。

いくつ知ってる？ MARUTAニュース

２０１３年１１月～２０１４年１月頃までの主な出来事を一挙にご紹介！
あなたの所課のあんなコトこんなコト・・・
どんなコトでもかまいません。ニュースをどんどん教えて下さい！
情報をお待ちしています。

群馬丸太運輸47周年を迎える

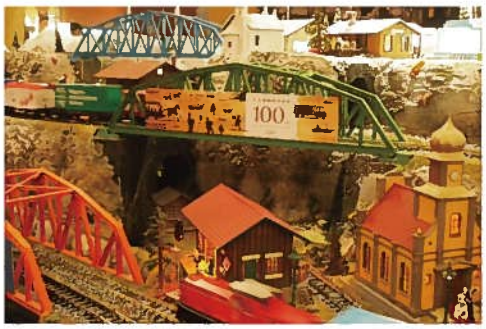
11月1日（金）、群馬丸太運輸は創立47周年を迎え、創立記念式典を執り行いました。

式典では、長年群馬丸太に勤める社員への感謝の気持ちを込めて、永年勤続表彰など、各種表彰が行われました。また、表彰状の授与の後には、長谷川常務より「今年度も創立記念を迎えることが出来たことへの感謝と喜び。高村社長の掲げる『おもてなし』の心をもって、今後も会社の発展と飛躍を目指し、創立50周年、100周年と迎えられるようにしたい。』との話がありました。

ヒルトンクリスマストレイン今年も

11月16日（土）、今年もヒルトン名古屋にて、クリスマストレイン出発進行式典が行われました。

この催しは、ヒルトンが地元名古屋の企業を中心に様々な企業から協賛を募り、各協賛企業からスポンサーシップとして寄せられた収益金を、恵まれない方々へクリスマス・チャリティーとして寄付させて頂く取り組みです。式典では初めに子供たちによるクリスマスソングの合唱とハンドベル演奏が行われました



その後、スウェーデンより来日したサンタの手によって、ロビー一面に飾られたミニチュアの電車たちに命が吹き込まれました。

このミニチュアトレインは11月16日（土）から1月中旬まで、ヒルトン名古屋のロビーに飾られ、年末年始をホテルで過ごすお客様を楽しませました。

全体労懇開催

11月25日（月）、丸太グループ全体の労使懇談会がキャッスルプラザで行われました。この懇談会は、労働組合と会社側との話し合いの場として、毎年行われているもので、今年も組合より14名、会社側より8名が参加して行われました。

会議では冒頭、北島常務より「昨年を振り返れば、第18栄福丸の海難事故で協力会社6名の尊い命が失われた。安全だけでなく、品質、識別、コンプライアンス、あらゆる面でリスクは存在する。しかしながら、全社レベルでその全てを把握できているわけではなく、1つの事故・事件が会社を揺るがすことにもなりかねない。管理者はリスクをしっかりと認識し、課題を解決してほしい。」との話をいただきました。また、懇談会では丸太グループの次期計画や新規事業について労使共に積極的な意見交換がされ、来たる百周年にむけて労使一丸となる重要な場となりました。

丸八会親善野球開催

11月26日（火）、名古屋地元企業の代表からなる丸八会が主催する「第35回ドラゴンズOB対丸八野球会　親善野球大会」が、ナゴヤドームで行われました。

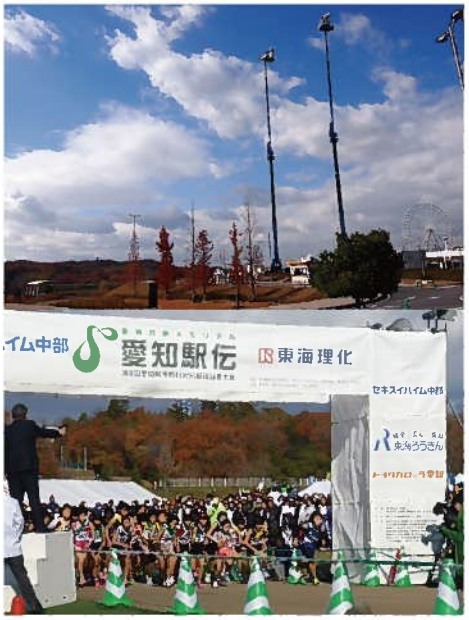
大会は、丸八会の代表世話人を務める当社の高村会長と、中日ドラゴンズOB会の会長を務める木俣達彦さんの挨拶から始まりました。試合では、二回表に丸八会野球部が先制をするなど、試合全体を通して、丸八会の有利に展開した。途中ドラゴンズOBチームの好プレーで、一度に4点の失点を許す危ない場面もありましたが、結果は、丸八会の3年ぶり3回目の勝利となりました。

この試合では、当社の野球部を中心とした若手メンバーもサポート役として参加し、大会を大いに盛り上げました。

スカイワークが愛知駅伝にも一役

12月7日（土）、2005年から始まり、今年で9回目を数える、愛知県市町村対抗駅伝競走大会（通称：愛知駅伝）が、長久手のモリコロパークで行われ、今年もレンタルチームのマルタスカイワークが撮影協力をしました。

これは、愛・地球博のメモリアルイベントとして、東海テレビが毎年開催している、市町村対抗の駅伝で、今年も全54の市町村から各代表が参加し、年齢性別ごとに分けられた9つの区間をたすきで繋ぎました。この大会で、マルタスカイワークは上空からの撮影目的として40mが2台使用され、広い広いモリコロパーク周回コースを走る、選手たちの白熱した様子を、ライブ中継でお茶の間の視聴者に届けました。



12月　定退式行われる

12月26日（木）、12月末で定年退職を迎えられる社員1名と、翌年3月に定年退職を迎えられる社員5名の定退式が行われました。

式では、初めに一人づつ感謝状と記念品が贈られ、その後に、高村社長より「来年当社は百周年迎えるわけだが、その長い長い歴史には、勿論、ここにいる皆様の名も刻まれている。これまでの当社の業績は、まさに皆様の努力のたまものである。本日、定年退職を迎えられ方々は、今後も当社で働かれるということを聞いているので、今後は、職場の後輩に豊富な知識を伝承して頂きたい。今後も活躍を期待している。」とのお言葉をいただきました。

丸太野球部W優勝！

丸太野球部は、所属する愛知県軟式野球連盟熱田支部のC級大会と、支部長杯の両大会共に優勝するという快挙を成し遂げました。

これは、毎年同野球部が参加している市民リーグの大会で、昨年は惜しくも優勝を逃した、因縁の大会でした。今年は、昨年度も大活躍をした投手の高橋森生さんに加え、新入社員の内野手の木村亮太さん、捕手の寺澤亨さん、投手の林知輝さんら若手による活躍も大きかったです。しかし、何よりチームが一つになって「優勝」へこだわったことが結果につながりました。また、今期の個人成績（熱田支部全体）についても丸太野球部部員は優秀な成績で、打撃成績6位が高橋さん、7位木村さん、9位大塚さん。打点成績で木村さんが2位、そして優秀選手として寺澤さん、大塚さんの2名が選ばれました。来期はこのW優勝の結果を受け、B級リーグへ昇格することが決まりました。

いくつ知ってる？ MARUTAニュース

２０１３年１１月～２０１４年１月頃までの主な出来事を一挙にご紹介！
あなたの所課のあんなコトこんなコト・・・
どんなコトでもかまいません。ニュースをどんどん教えて下さい！
情報をお待ちしています。

新A炉竣工式

12月18日（水）、大同社知多工場にて、新たに造られたA炉の竣工式（ホットラン）が行われ、当社から林GMをはじめ、4名が参加しました。

この新A炉は、大同社が一昨年より知多工場に建設を進めていた『エネルギー多様化対応型の電気炉』です。将来の電力単価の上昇に備えて、炉を大型化（150t化）するとともに、製鋼プロセスにおけるエネルギーの高効率化と精錬機能の向上も目指しています。また、電力以外の代替エネルギーを積極的に利用することによる省電力溶解も可能です。

式典は、新A炉横のテントで神事が行われた後に、溶解炉の見学室にて、石黒常務の手により、送電のスイッチが押されました。

ホットランの装入を担当した鈴木さんから一言!!

竣工式ということで、
とても緊張しました。
失敗せずに無事に装入すること
が出来て良かった
です。

【　製鋼クレーン班　】
鈴木大地　班長

【参考】大同社HP：http://www.taido.co.jp/about/release/2012/0110_chita.html

本社と元浜センターにAED導入

12月、自動体外式除細動器AEDを本社2階と、元浜センターの1階に設置しました。

このAEDは、一般の人も簡単に使用ができる心肺蘇生用の医療器具で、以前から大同社の工場内などでは導入されていましたが、当社でも不特定多数のお客様や、多くの社員が働く営業所ということで、リスクマネジメントの観点から、この2か所での導入に至りました。

今回の導入に先立って、元浜センターでは1月20日（月）、本社では1月24日（金）に、それぞれ認定PUSHインストラクターの本田先生を講師にお招きして、AEDの講習会が行われました。1時間ほどの講習会では、使用方法をストーリー立てで分かりやすく紹介したDVDを観ながら学びました。参加者は、倒れている人の発見した後の声掛けから、周囲への呼びかけ、見本のパッドやクッションなどを使っての心臓マッサージ、音声ガイドを聞きながらのAEDの使用方法など。救急車が来るまでの手順を、全員で実際に体験しました。

AEDとは？

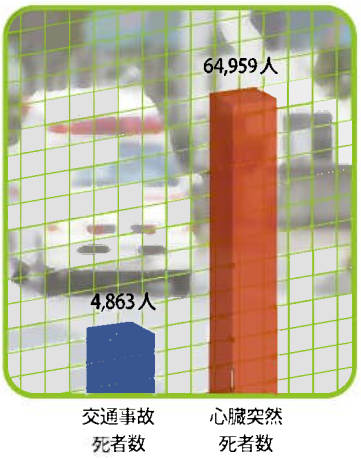
AEDは、Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略で、電源を入れると音声で操作が指示され、救助者がそれに従って、**心臓に電気ショックを与えられる医療器具**。

AEDは自動的に心電図を診断し、電気ショックを与える必要があるかどうか判断するため、医学的な知識が少ない一般市民でも音声ガイダンスに沿った操作で救命処置ができます。近年「**心臓突然死**（突然の心停止による死）」の有効的な手段として、不特定多数の人が出入りする施設への設置が進められている。

心臓突然死の発生人数

「心臓突然死」による死者は、1日約180人。年間では、交通事故死者数よりも多い、約6万5千人にもなります。

※「平成22年度救急・救助の現況」警察庁交通局調べ



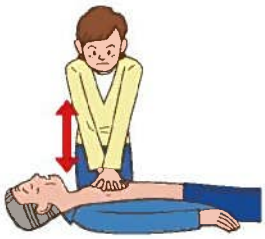
心肺蘇生の流れ

1 倒れている人を発見したら、周囲の安全を確かめて近寄る。肩をたたき、声をかけて意識確認。

2 大きな声で、周囲の助けを呼ぶ

3 胸と腹部の動きをよく確認し、呼吸の有無を確かめる。（10秒以内）

4 心肺蘇生を行う。胸の中央を少なくとも5 cm 沈むように、胸骨圧迫をする。（100回/1分）



5 AEDが到着次第、電源を入れ、音声ガイドにしたがって電気ショックを行う。

※救急車が到着する、もしくは心臓が動き出すまで**4**、**5**を機械の指示に従って繰り返す。

百周年の年を迎えて　仕事始め式

1月6日（月）、本社にて仕事始め式が執り行われました。

式では初めに高村社長より年頭の挨拶として「明けましておめでとう。昨年を振り返ると、9月に起こった海難事故等、当社の試練とも言える出来事もあった。しかし、かねてから念願であった様々な事業へ着手することができた年でもあった。そして、穏やかな元旦が明け、ついに今年、当社は創業百周年を迎える。仕事始めにあたって2つのことを大切にして欲しい。1つは、社風である。当社がこんなにも長い歴史を刻むことができたのは、ひとえに諸先輩方が当社の『和を以って助け合う精神』や、『絆』を大事に守ってきたからである。その社風を今後も大切にして欲しい。そして2つ目は、お客様への『おもてなし』の気持ちである。『おもてなし』は、古くから培われてきた、日本が世界に誇れる究極のサービス精神です。これを大切にしたいと思い、今年新しくなるユニフォームにも『OMOTENASHI』の文字を刻んだ。社員の皆様にはその文字を守って欲しい。次の百年に向かうスタート元年となるこの一年を実りのある一年にしよう。」とお言葉がありました。

また、社歌を斉唱した後には、高村会長より「百周年は一つの通過点であるが、これは皆の力があったからこその功績であると思っている。今後も力を合わせて会社を盛り上げて欲しい」という乾杯の挨拶があり、それぞれ飲み物を片手に、社員同士新年のあいさつを交わしました。

いくつ知ってる？ MARUTAニュース

２０１３年１１月～２０１４年１月頃までの主な出来事を一挙にご紹介！
あなたの所課のあんなコトこんなコト・・・
どんなコトでもかまいません。ニュースをどんどん教えて下さい！
情報をお待ちしています。

知多営業所 初荷式行われる

1月6日（月）、大同社知多工場にて初荷式が行われ、知多営業所社員も参加しました。

これは、その年の最初に出荷される製品を『初荷』として、物流に関わる者全員で送り出すという、毎年恒例の行事です。式の冒頭には、知多工場の天野工場長より「今年度は、完全無災害を達成したい。また、製鋼プロセス革新合理化工事が完了し、お客様からも、さらなる品質向上が求められている。輸送中にも、製品の品質を落とすことのないように、しっかりと荷物をお客様の元までお届けしてほしい。」と挨拶がありました。その後、山田所長から各ドライバーへ乗車とエンジンスタートの指令があり、帯鋼工場の津野工場長の発車指令のもと、参加した5台の車両は出発しました。

当日は天候にも恵まれ、赤い『初荷』と書かれた旗をなびかせながら、順番に出発していくトラックを、本館正面玄関の前から、社員全員で送り出しました。

ほっ

各所の出来事伝えます。

ほっとふれあいニュース♪

ロジスティクスエリア東京支店

市川合同忘年会（飲んでも呑まれない！）

通信委員　池田　祐輔

昨年12月28日（土）、1年の業務を全て終えた後、市川物流センター・ブルーペッパー市川営業所・協力会社の合同忘年会が行われました。

会の冒頭、杉野所長より一年間を総括する挨拶があり無事故・無災害・異常ゼロの継続と9月27日を忘れずの誓いをたてながら、皆お互いの労を多とし乾杯となりました。美味しい料理に舌鼓を打ちつつ、お酒を片手に互いの思いを交換し合う面々。普段の業務日や時間に差がある為、一堂に会することがなかなか出来ないのですが、来る百周年に向けて、大きな活力を生み出した一晩となりました。

忘年会参加者は協力会社の方も含め20名程度。規模はコンパクトですが全員パワーがあり、用意されていた酒類は早々に底を尽き、追加追加追加…と。そして、会を終了した後は、思い思いに街へ消えていきました。某江戸っ子曰く、「酒が飲めるのは健康な証拠！」だそうです。

コンストラクションエリア関東営業所

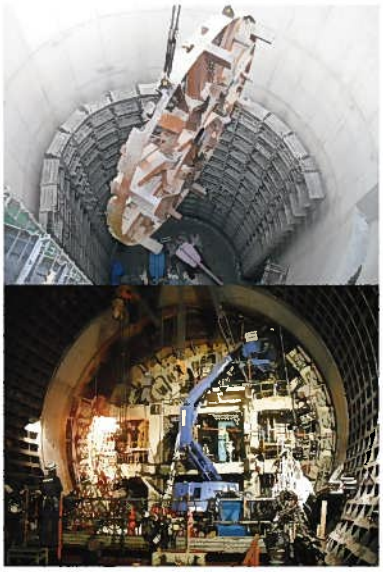
地下50mのφ10.8mシールドマシン解体完了！

通信委員　亀蔦　もも
寄稿者　兼澤　拓実

昨年、8月19日から11月15日まで、東京都の練馬区で、直径10.8mのシールドマシンの解体工事を行いました。

今回の工事は、平成24年2月にエンジニアリング部関東営業所が組立完了したマシンで、集中豪雨などにより、河川が増水して水害が発生する前に、一時的に洪水を貯留するための地下50m、距離3.2kmのトンネル式調節池構築用のマシンでした。工期が短く、3交代勤務による厳しい条件の中、厚板部材のガス切断作業や最大108トンの解体品を50m先の地上まで重機で吊上げる等の危険作業を、作業員の方々の熟練した技術と知恵を結集させて、無災害にて工事を終えることができました。

調節池完成後は、豪雨により万が一が起きた時に貯水量約21万m3の能力を発揮して、河川周辺に住む方々の役に立って欲しいです。また、2020年の東京オリンピックに向けてインフラ整備が増加する中へ、「丸太百年」の看板を背負ってエンジン丸となって工事に臨んで行きます。



マルタアマゾン株式会社

安全祈願および親睦会

通信委員　大矢　佳弘
寄稿者　上伊澤　真

1月25日、熱田神宮にてマルタアマゾン事務系職員6名と班長ドライバー6名、作業長3名で、安全祈願及び親睦会に行ってきました。この行事は、毎年恒例の新年行事で、職場ならびに従業員の1年間の無事と、社業の一層の発展を祈願することが目的です。

安全祈願では、歴史があることで有名な熱田神宮にお参りし、各々が安全でいたいと思う素直な気持ちを神様に祈り、今後の発展を託しました。安全祈願の後は、お食事処『べんてん』にて、親睦会が開催されました。親睦会の目的は、事務系職員と乗務員の親睦をより深めることですが、結局は配車係への日頃の文句を、公の場で発表することが何よりの目的になります（笑）。日々のうっぷんが溜まった乗務員からの、ありがたいお叱りを受ける非常に貴重な場になります。配車係も心から反省をすることでしょう（笑）。

毎年恒例のこの行事こそマルタアマゾンが無事故、無違反、安心、安全に輸送できる原動力になっています。

ご安全に!!

発行元
MARUTA
丸太運輸株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区新開町 22-20
〒467-0856　電話 052(872)3311

安全だより

発行日
2014 年（平成26年）2 月 25 日（火曜日）
担当
安全チーム　渡辺 敏晴

2014年春の全国交通安全運動が実施されます

4月6日（日）～4月15日（火）を期間として、10日間実施されます。特に、4月10日（木）は県内一斉大監視の取り締まりが行われます。

'14年がスタートして約1ヶ月、愛知県の交通事故死者数は18名で、全国ワースト1です。また、'13年も219名の方が不幸にして命を落としており、これも全国ワースト1の結果となりました。

今年の18名の内訳をみると、歩行者が11名、横断中が9名、時間帯別では9時～18時で7名、18時～22時で8名、原因別では安全運転義務違反が7件、歩行者妨害が5件ということで、車輌が歩行者を最優先していないことが、統計からも明らかです。特に、名古屋市およびその近郊では、『名古屋走り』などという特有の行儀の悪い運転マナーが存在しており、次のような運転パターンのことを総称しています。

①信号無視　②速度超過　③車線またぎ
④ウィンカーを出さずに車線変更
⑤右折フェイント　⑥早曲がり
⑦右折中の追い越し　⑧歩行者軽視

が特徴です。①の信号無視は、黄信号ではためらいなく進入し、赤信号に変わっても状況判断によっては進入する『黄色まだまだ、赤勝負』と形容されたり、⑧の歩行者軽視は、横断歩道で手をあげている歩行者がいても無視して止まらずに進むというような内容です。ハンドルを握ると、ついうっかり『名古屋走り』に該当するような運転をしていないか、今一度、自分自身の運転を振り返ってみよう。

また、昨年は飲酒運転による交通死亡事故が17件発生しており、依然としてゼロになっていません。丸太グループは、物流のプロ集団です。他者を指摘することはあっても、他者から指摘されることは絶対に許されません。他者の模範となるような運転を心掛けて下さい。

1月２６日現在の都道府県別交通事故死者数（暫定）

	都道府県	死者数	増減		都道府県	死者数	増減
1位	愛知県	18 名	+2 名	6位	広島県	12 名	+4 名
2位	福岡県	16 名	+3 名	7位	栃木県	11 名	±0 名
3位	兵庫県	15 名	+5 名	8位	鹿児島県	10 名	+4 名
4位	神奈川県	14 名	+2 名	8位	千葉県	10 名	−3 名
4位	茨城県	14 名	+1 名	7位	岩手県	9 名	+6 名
					合　計	292 名	+3 名

コンプライアンスだより

皆さんこんにちは !! CSR チームの森川加奈子です。これから安全だよりの一角をお借りして、定期的に皆さんにコンプライアンスに関する情報をお届けしていきます。